

令和元年度 第2回 小中一貫教育校推進委員会報告書

1 開催概要

日時：令和元年11月19日（火）18:00～19:30 / 場所：旭丘中学校

2 第2回の内容

- ① 新校設置に向けた改築スケジュール等について
- ② 施設一体型小中一貫教育校における体制等について
- ③ 新校の施設整備について

3 当日の主な意見等（まとめ）

- 1～9年生の間での交流は魅力の一つなので、児童生徒の安全確保を第一に授業や休み時間等での様々な交流も検討して行ってほしい。
- 大泉桜学園のように小学生から部活動参加（5・6年生の希望者のみ）をする場合には、小学生と中学生の体力の差やルールなどの違いを考慮されたうえで行う必要がある。
- 校庭利用時の安全性の観点、また、夏休みにおける部活動の練習・大会等と学童やひろば事業の活動と重なることもあるので、校庭は2つに分けるのがよいのではと思う。
- プールは、小学生と中学生の体格の違いを踏まえ、整備されたほうがよい。
- 大泉桜学園では小学校から制服の着用を推奨しているが、新校でも今後、制服のあり方等について検討したほうがよい。
- 子どもたちが入りやすいような環境を整えたうえで、職員室の一体化を検討していくとよい。
- 子どもたちの栄養面や衛生面を考慮し、給食室を整備してほしい。
- 災害時の旭丘と小竹地域に住む人の受入れ等、地域の防災拠点としての役割を考慮し整備していく必要がある。
- 大泉桜学園や他自治体等のこれまでの事例から、小中一貫教育校の具体的な課題やそれらの解決方法についても示してほしい。
- 今後の推進委員会では、大泉桜学園の関係者等にも来ていただき、学校のあり方や指導方法等について話し合いたい。